

# 日本医師会女性医師支援センター事業 ～今後の事業展開について～

日本医師会常任理事 小玉 弘之



# 平成30年度女性医師支援センター事業（概要）について

## 1. 女性医師の就業・復職支援（女性医師バンク）

就業斡旋、就業に関わる育児・介護等の相談、求職・求人登録数増加に向けた施策、都道府県医師会・大学医学部・医学会・行政等との連携、病児・病後児保育の実情把握等

## 2. 女性医師のキャリア継続支援

- 女性医師支援センター事業ブロック別会議
- 女性医師支援担当連絡会(全国会議)
- 女性医師の勤務環境の整備に関する病院長、病院開設者・管理者等への講習会
- 医学生、研修医等をサポートするための会
- 地域における女性医師支援懇談会

## 3. 医師会主催の講習会等への託児サービス併設促進と補助

## 4. 女性医師支援シンポジウム等の開催

## 5. 「医師の働き方改革に関する検討会」対応

# 1. 日本医師会女性医師バンク

厚生労働省の委託を受け、平成19年1月30日開設。  
今後急増していくと予想される女性医師のライフステージに応じた就労を支援し、医師の確保を図ることを目的としている。

## 女性医師バンク 2つの支援体制

### ① キャリア継続支援

常勤・非常勤・スポット  
といった様々な勤務形態  
での就業が可能。

### ② 復職支援

再研修のための施設をご  
紹介。離職期間の長い方  
でも安心して復職いた  
だけよう支援。



## 女性医師バンクの特徴

1. 求職・求人ともに登録料、紹介手数料等の費用は一切無料。
2. 日本全国、日本医師会会員、非会員問わず利用が可能。
3. 専任コーディネーターがお一人お一人の実情にそったきめ細かいサポート。
4. 医師のアドバイザーが専門的な相談にも対応。

## 2. その他主な女性医師支援事業

### ① ブロック別会議、全国会議（女性医師支援担当者連絡会）の開催

ブロック会議は各地域内での女性医師支援の情報交換の機会として、**平成21年度より全国6ブロックにて開催**。また、年に1度、都道府県医師会、大学医学部、医学会の女性医師支援担当が一堂に会する全国会議を開催し情報の共有を行っている。

### ② 講習会・懇談会等の開催



- 医学生・研修医等をサポートするための会
- 女性医師の勤務環境の整備に関する病院長、病院開設者・管理者等への講習会
- 地域における女性医師支援懇談会
- 地域における女性医師支援懇談会

### ③ 医師会主催の講習会等の託児サービスの併設促進と補助

### ④ 女性医師支援シンポジウムの開催

今年度は、愛媛県西予市（2018年11月18日開催済）と広島県（2019年3月2日）で開催予定。

# 今後の事業展開について

## 1.女性医師バンク事業について

### 現在

#### ①就業・復職支援

求職中の女性医師への就業先の斡旋、復職の支援



### 今後

#### ①就業・復職支援

求職中の女性医師への就業先の斡旋、復職の支援

#### ② お留守番医登録制度(仮) (目的：地域の医師確保)

現在勤務しているが（常勤・非常勤）、空いている時間があるので、条件が合えば働ける医師と緊急時（たまに）医師を紹介してもらいたい施設とのマッチング。大学医局や地域のクリニックとの連携。

#### ③ 復職支援施設認定制度（仮）（目的：復職支援環境整備）

復職を希望される女性医師が地域で活躍できるよう、復職を支援（協力）いただける医療機関に対し認定を行う。また、女性医師支援センターホームページでも認定施設を掲載し、地域の女性医師が復職しやすい環境の整備を実施。

## ②お留守番医登録制度(仮) (地域の医師確保)

日本医師会、都道府県医師会、大学が一体となって  
地域全体の医師確保の仕組みを構築

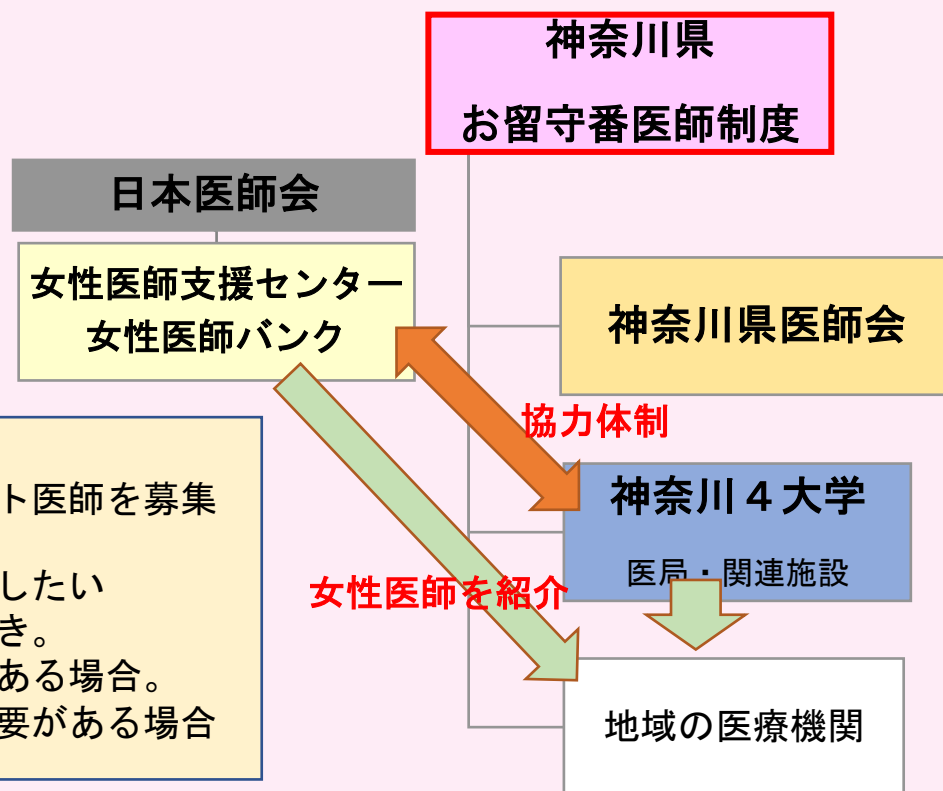
女性医師バンクの求職登録者は非常勤・スポットでの勤務希望の医師が大半を占める。一方、地域の医療機関や大学関連施設では、1日だけ医師が足りない！この日だけ来てもらいたい！などのニーズがある。

そこで、各大学との協力体制を構築することで、お互いのメリットとなる。

現在、神奈川県をモデルケースとして運用を検討中。

### 想定される利用方法

- ・学会時などにお留守番をしていただけるスポット医師を募集したいとき
- ・在宅診療などで外にでるときの、外来をお願いしたい
- ・非常勤医師が休みとなり医師が必要となったとき。
- ・健診業務や外来など、単発で医師を探す必要がある場合。
- ・予防接種業務などシーズンで医師を確保する必要がある場合。



### ③復職支援施設認定制度（仮）（復職支援）

日本医師会、都道府県医師会、大学が一体となって、復職支援の体制を強化

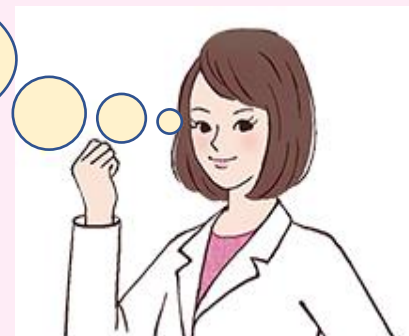
#### ●復職支援施設認定制度(仮) について

復職を希望される女性医師が地域の医療機関で復職から就業までをサポートできる体制を整えるため、復職支援協力認定制度の運用を検討中。認定施設は女性医師支援センターHPにて掲載予定。

#### ●各都道府県医師会との連携強化

研修を希望する女性医師が住んでいる地域で希望する再研修をスムーズに受けるには、都道府県医師会及び、各大学医局との協力が必須。  
今後はより、連携を強化していく。

**復職支援を実施いただける施設を認定し、  
女性医師の復職を地域でサポートできる環  
境整備に取り組みます。**





## 2.その他事業について

### ①ブロック会議

- ・ 開始から約11年を迎えるブロック会議。  
現在の都道府県ごとの状況報告にとどまらず、毎年、テーマを決め、その内容について議論する場としていく。
- ・ 今年度より各都道府県医師会の資料を女性医師支援センターホームページに掲載。  
各都道府県医師会の取り組みを参考にしてください。

### ②勤務環境整備

「女性医師の勤務環境の整備に関する病院長、病院開設者・管理者等への講習会」を今まで以上に開催しやすくするため、プログラムや資料を提供する。要請があれば、講師の派遣にも対応。

### ③子育て支援

病児病後児保育の実態調査を行い、情報収集及び好事例を紹介予定

### ④情報収集・情報発信の強化

女性医師支援センターホームページにて、大学医学部、医学会、都道府県医師会等の女性医師支援の取り組みについての好事例を全国展開できるよう情報収集・発信の強化を行う。

**今まで行ってきた活動をより充実したものへと事業展開し、  
発展的な活動となるよう取り組みを進めます。**